

田中功起《ひとつの陶器を5人の陶芸家を作る（沈黙による試み）》 「手話とバリアフリー字幕版」（2021年）オンライン無料配信のお知らせ

東京国立近代美術館では、幅広い鑑賞の機会をつくるため、所蔵の映像作品である田中功起《ひとつの陶器を5人の陶芸家を作る（沈黙による試み）》（2013年）に「手話とバリアフリー字幕」を付けた映像を制作しました。

この映像を本日3月31日よりオンライン動画サイトVimeoにて1年間無料で公開いたします。



田中功起《ひとつの陶器を5人の陶芸家を作る（沈黙による試み）》「手話とバリアフリー字幕版」（2021年）より

主旨

2018年6月13日「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律（平成30年法律第47号）」が公布、施行されました。この法律では、「障害者が必要な支援を受けて文化芸術を鑑賞する機会を拡充する必要性」がうたわれています。これに基づき、当館は国立の美術館として、アーティストの田中功起氏の全面的な協力のもと、所蔵作品である《ひとつの陶器を5人の陶芸家を作る（沈黙による試み）》（2013年）の「手話とバリアフリー字幕版」及び「手話による解説動画」（2021年 / HDビデオ / カラー / サウンド / 本編75分・解説5分、合計80分）を制作しました。

手話ナビゲーターによる手話と、日本語のバリアフリー字幕と英語の字幕が付いていますので、ろう者、難聴者、中途失聴者、日常生活で手話をつかわれる方、文字情報を主につかわれる方のみならず、手話に関心をよせている方、手話をご存じない方もお楽しみ頂けます。

世界的にみても数少ない試みです。ぜひ、ご覧下さい。

作品と「手話とバリアフリー字幕版」について

田中功起《ひとつの陶器を5人の陶芸家を作る（沈黙による試み）》（2013年）は、中国の5人の陶芸家が一つの陶器を制作する様子を記録したドキュメンタリー・アート作品です。この作品を出品した2013年ヴェネチア・ビエンナーレ日本館の展示が特別表彰を受賞。国際的な評価が高い作品です。

本編映像の右に手話ナビゲーターの映像、下にバリアフリー字幕を付け、本編の冒頭に、「手話による解説」（5分）も制作。5人の登場人物のうち、男性3人を手話ナビゲーターの野崎誠（のざき まこと）氏、女性2人を佐沢静枝（さざわ しずえ）氏が担当しています。手話とバリアフリー字幕の監督は手話マップの木下知威（きのした ともたけ）氏です。作品全体の監督は、田中功起氏です。

田中功起（たなか こおき）プロフィール

1975年、栃木県生まれ。東京藝術大大学院修士課程修了。ミュンスター彫刻プロジェクト、あいちトリエンナーレなど多数の国際展に参加。2013年、第55回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展における日本館展示（田中功起個展）が特別表彰受賞。近年のテキストを集めた『リフレクティブ・ノート（選集）』（アートソングエ、美術出版社）を2021年3月に出版。近年は、人と人との協働に焦点を当てた作品を制作している。

オンライン配信について

配信サイト URL : <https://vimeo.com/530881240/>

QR コードはこちら▶



配信期間 : 2021 年 3 月 31 日から 2022 年 3 月 31 日まで。

上記期間中は、どなたでも無料でご覧いただけます。

オリジナルの映像作品は、現在開催中の所蔵作品展「MOMAT コレクション」(2021 年 5 月 16 日まで)でご覧いただけます。また、手話とバリアフリー字幕版に関しては、2021 年秋の所蔵作品展「MOMAT コレクション」(2021 年 10 月 5 日～2022 年 2 月 13 日)で展示・上映予定です。

ホームページ https://www.momat.go.jp/am/collection/discover_collection/#section1-2

【報道関係のお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 所蔵品広報 小川・堀田

TEL: 03-3214-2565 FAX: 03-3214-2576 Email: pr-f@momat.go.jp